

労働争議講演會

七月十二日午後七時^よ 於湊川勸業館

人間として機械せしめた現今の社會から

脱し眞個の労働と行樂の世界に生きんと

努力せる我々フロンティア階級を、頭から

壓へ付けようとする資本家に對して、諸君

は如何に處せんとするか。

労働争議紛糾の今日、我等の進むべき針路

は、唯一の労働組合あるのみである。

變化する扇港の労働者諸君、皆來れ。來つ

て諸名士の批判を聴けし

神戸鐵工組合
神戸造船労働組合
神戸鐵道工組合
東神戸鐵工組合
神戸電氣工組合
神戸電氣工組合
神戸労働機工組合
友愛會神戸聯合會

應援團體

神戸印刷工組合
組長 久留弘三氏
副組長 岡成志氏
大坂印刷工組合
組長 賀川豊彦氏
副組長 木村鏡吉氏
神戶新聞社
組長 野田文一郎氏
副組長 今井嘉幸氏
友愛會
神戶聯合會
其他團體代表者

講師

主催 神戸印刷工組合

職工代表者數名が敲首せられ、ために

式萬の職工は奮然として起ち上つた。

川崎造船所職工代表者と會社重役

七月十三日 夕七時
於湊川勸業館

時局労働争議批判演說會

この交渉順末を残りなく發表して與

論の批判を乞ひ賢明なる全市民諸君

の御同情に訴へんとす。

●辯士
労働者部長 賀川豊彦氏
神戸印刷工組合 久留弘三氏
學生代表者 久留弘三氏
名

主 催 神 戸 鐵 工 組 合 第 一 支 部

七月十七日午後一時 西新開地 於三國館

今神戸六萬の労働者が或ものを要求して居る。労働者の要求非

なるか？。拒絕せんとする資本家の凡ての行動は是なるか？。

輿論の批判を乞はんとす。労働者の現状を知らんとする者は來れ。

時局労働問題演說會

労働者新聞社長 賀川豊彦君
神戸印刷工組合長 久留弘三君
名 數 外

主 催 神 戸 鐵 工 組 合 第 一 支 部

八月二十六日夕七時
須磨月見座
辯士各労働團體代表者

労働問題演說會

労働問題を眞面目に考へんと

する者は來りて意義ある社會

改造の事業を學べ、

主 催 神 戸 鐵 工 組 合